

項目		
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	膵全摘後糖尿病患者におけるインスリンポンプ療法の有用性
	研究目的	膵全摘後の糖尿病患者さんの血糖コントロール方法にはインスリン頻回注射法が一般的ですが、インスリンポンプ療法という選択肢もあります。この研究ではインスリン頻回注射法を行っていた膵全摘後糖尿病患者さんに、インスリンポンプ療法を導入することで、血糖コントロールや栄養状態、糖尿病治療に関連する QOL への影響をみることを目的としています。
	研究対象者	当院で膵全摘手術を行い、糖尿病内科に通院している人のうちインスリンポンプ療法への切り替えに同意されアンケート調査にご協力いただいた方。
	研究期間	西暦 2018 年 8 月 3 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(QOL質問票) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	糖尿病内科 堀井三儀
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	糖尿病内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし